

ごあいさつ

20世紀、私たちは飛躍的な発展を遂げ、今日の便利で豊かな社会を築いてまいりましたが、一方では資源の枯渇を招き、地球の環境に多大な影響を与えております。このままでは私たちの未来が危機に陥ることは明らかであり、地球の温暖化を初めとした環境問題の解決は喫緊の課題であります。

本市では、昨年12月に、21世紀の飛躍へのかけ橋として「もっと元気に・京都アクションプラン」を策定し、その中でも、「自然の元気策」を大きな柱として位置づけ、私たち一人ひとりが地球市民としての自覚を持って、未来の地球のために行動していく環境にやさしいまちづくりを進めております。

また、本年4月には、地球規模の環境問題を視野に入れながら、本市の環境の特性に配慮し、よりよい環境を創造していくための基本的な枠組みを定めた「京都市環境基本条例」を施行したところであります。

こうしたなか、この度策定いたしました「京（みやこ）のアジェンダ21」は、地球の温暖化を防止するための二酸化炭素排出量削減対策を計画の柱とした具体的な行動指針であり、本市が本年7月に策定した「京都市地球温暖化対策地域推進計画」に示している、2010年までに1990年レベルの10%削減目標をベースとしながら、市民、事業者、行政の協働による積極的な取組のなかで、更に新たな目標を目指していることに特徴があります。

また、市民、事業者の皆様が主体的に計画づくりに参加され、計画の実践に当たっても、市民、事業者、行政が共通の目的のもとに、それぞれの立場を尊重しつつ協働するパートナーシップを前提に推進することにもう一つの特徴があり、行政の取組はもとより、市民や事業者の皆様が積極的な取組が不可欠となっております。

本年12月、ここ京都の地で「地球の未来への輝かしいプログラム」をつくる国際会議「地球温暖化防止京都会議」が開催されますが、市民、事業者、行政の行動計画・行動指針として、「京（みやこ）のアジェンダ21」がここに策定できましたことは、まことに意義深く、環境問題の重要性を改めて実感している次第であります。

今後、市民、事業者の皆様が参加と協力により、この計画が目指す真の豊かさや新たな活力を生み出す「環境と共生する持続型社会」を実現していくため、本計画を市民、事業者の皆様と共に積極的に推進してまいりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をいただきますようお願い致します。

平成9年10月

京都市長 梶山 静一